

緊急報告 列島大水害  
決壊 そのとき人々は

# 提言:CATV局の防災パワー

2015/09/09

20:35

5min

線状降水帯

広島やかつては可見市で暴れた「線状降水帯」の凶暴性が理解できていれば、の結果論(NHK「緊急報告」画面を編集部が撮影)

## 災害大国日本に住むという現実 国土強靱化と社会資本整備推進

2015年の9月の日本は、まさに「災害列島」そのものだった。

火山噴火・豪雨・水害・崖崩れ・地震など、誰でもが震撼させられたに違いない。特に関東・東北豪雨は甚大な被害を与えた。山梨県上野原市の上野原ブロードバンドコミュニケーションズ(UBC)のサービスエリア内でも数カ所で土砂崩れが発生した。

幸い大被害には及ばなかったが、危機一髪のところであった。

UBCはこのような災害に対してどうしたのであろうか。宮田社長に聞いた。(編集部/写真提供:UBC+山日電子版)

### 受け身では 防災・減災はできない

——河岸段丘の上に開けた上野原市では、このたびの豪雨ではどのようなことが起こりましたか。

**宮田** 上野原市には何時崖崩れ、土砂崩れが起こるか分からない危険個所が多くあります。以前にも、月刊「ニューメディア」で、上野原市の防災・防犯につ

いて町内会役員との座談会がありました。その時にも触られたことですが、老朽化した道路沿いの柵などが崩れる危険性が高いので、市や行政はなによりも真っ先に危険除去のために根本的な強化工事を行うべきだと指摘されていました。やはり、自然は正直です。弱点のある所を集中して襲いました。写真を見ていただければ一目瞭然、あわやという土砂崩れが何カ所も発生しました。今後のこ

とを考慮すれば応急処置では到底済む話ではありません。

——今回の豪雨では、茨城県常総市の災害があれほどの大災害を招いた一因に「人災」の側面があるのではないかと指摘があります。

**宮田** 常総市の被害は他人事ではありませんでした。的確な雨量予測、避難指示、住民への細かい情報伝達などを怠ると、あるいは誤ると災害の被害は甚大化